

会員社・法人各位

＜「大震災出版復興基金」設立に関する文書送付について＞

2011年7月

日本書籍出版協会・日本雑誌協会・日本出版クラブ

＜大震災＞出版対策本部作成の『「大震災出版復興基金」設立と協力のお願ひ』の文書をお届けします。以下の資料にもお目通しの上、設立趣旨にご賛同いただき、全会員の皆さまの格別の協力をお願いいたします。

1. 「大震災出版復興基金」と「東北関東大震災 義援金」の違いについて

今回の「大震災出版復興基金」は、震災発生直後に出版クラブが立ち上げた＜出版界の「東北関東大震災 義援金」募集＞とは別に設立するものです。

＜出版会の「東北関東大震災 義援金」－8月末で受付終了－＞に寄せられた募金は日本赤十字社に寄託し被災地全般の支援に充てられますが、今回の「大震災出版復興基金」は被災地への「図書寄贈」「図書カード寄贈」等、＜大震災＞出版対策本部の行なう活動を通し、「読書環境の復活」「図書販売環境の復活」「人々の心の復活」のために直接活用されます。

それぞれの主旨をご理解賜わりご協力をお願いいたします。

2. 「大震災出版復興基金」への拠出金の優遇税制適用について

税務上寄付金控除を受けられるかどうかという点については、管轄の税務署にご相談ください。

基本的には一般の寄付金にあたりますが、基金のお金が不特定多数の被災者への支援金に回っていることが提示できれば寄付金控除が認められる可能性があります（どう扱かわれるかはそれぞれの所轄税務署の判断となります）。

＜大震災出版対策センター＞ホームページ上の図書寄贈、図書カード寄贈報告資料等を添えて、それぞれの税務署に個別に相談されることをおすすめします。

*出版クラブも「特定寄附金」受入団体として認定されるよう働きかけています。

3. 7月までの＜大震災＞出版対策本部活動内容と経費について

対策本部の7月までの活動内容とそれに伴う経費概況は以下のようになります。

- ・ 「図書寄贈」は出版社からの提供21万冊、7月までの寄贈14万冊で概算600万円。
- ・ 「図書カード」は額面1000円のオリジナルカードを15万枚製作。夏休み前までに被災3県の小学生 約500校 13万2000名に届け概算で1億5300万円
- ・ その他、本部活動費(現地取材やDM等)・ホームページ開設・運営等で概算300万円

今後の活動の継続も見込み、基金へのご協力をお願いいたします。

－以上、参考資料として－